



こぶし



拳ノ川小学校

◆7月の参観日のお礼



昨日18日(月)の今学期最後の参観日には、大変暑い中、平日の午後にも関わりませず、多数の方におこしいただきましてありがとうございました。また、授業参観後の救急救命法講習会(心肺蘇生法)にも引き続き、多数の方のご参加をいただき、夏休みのプール監視を間近にひかえての有意義な講習会となりました。水難に限らず万一にそなえての心肺蘇生法の大事さを再認識することができたと思います。

また、学級懇談(個人面談)では、学級担任と膝をつき合わせて子どもたちの学習面や生活面などについて意見交換ができたことと思います。今後も子どもたちのよりよい成長に向けて、学校と家庭が連携して取り組んでいきたいと考えておりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

◆大変暑い中、救急救命講習会(心肺蘇生法) ご苦勞様でした。

黒潮消防署の野並さん、福留さんを講師にお迎えして、実際に心肺蘇生法の実習を行いました。とにかく大事なものは、「救命の連鎖」を速く確実ににつないでいくことです。

◆救命の連鎖 早い119番通報 → 早い応急処置 → 早い救急処置 → 早い医療措置



「暑い中、本当にご苦勞様でした。」

【心肺蘇生法の手順】

あわてず、確実に>

- 1、意識の確認 (「大丈夫ですか」の連呼 → 意識なし)
- 2、救急車の手配 (「誰か救急車を呼んでください。」)
- 3、気道確保して呼吸の確認 → 胸の動き、呼吸音、呼気
- 4、呼吸なし→人工呼吸 (「フーウー3 4 5」を2回)
- 5、循環サイン確認 (呼吸、咳、動き：6秒間) → サインなし
- 6、心臓マッサージ (15回) 人工呼吸(2回) × 4回
- 7、循環サイン確認 → サインなし ※6、7を繰り返す

着衣水泳に挑戦しました。

ねらい：服を着たままで水中を移動したり、泳いだりする体験を行うことによって、「生きるために浮く」ことの大切さを理解させ、水遊びや水泳時の安全について考える。

7月14日(金) 梅雨の晴れ間、真夏の太陽が照りつける中、1年生から6年生までが服を着たままプールに入り、水の中で自分の命を守る方法について学習をしました。

とにかく全員が初めての体験でしたので子どもたちからは、服を着たままでは、「すごく、動きにくい。」「泳げん。」「重たい。」「体にひっつく。」という反応が返ってきました。

しかし、水の中では、靴に浮力があり、靴の浮力だけでもからだが浮くこと、また、ペットボトルなどでも浮くことができる事を体感しました。「生きるために浮く」ことの大切さや水遊びや水泳時の安全について考えるいい時間になりました。



着衣水泳は初めての体験です



着衣で水中歩行・・・動きにくい



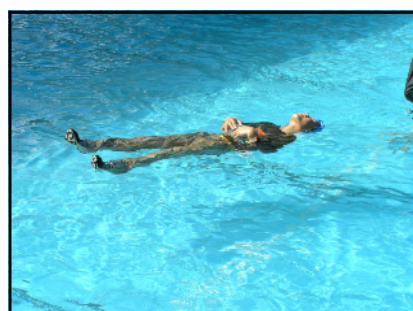
靴をはいてバタ足・・・重い



しかし、靴は意外と浮力がある



靴とペットボトルでの背浮き



上手に背浮きができました

9月行事



日	曜	主 要 行 事	日	曜	主 要 行 事	日	曜	主 要 行 事
1	金	始業式・部落児童会 地震避難訓練	11	月		22	金	発表(2年)
2	土	休 業 日	12	火		23	土	秋分の日
3	日		13	水	校内研	24	日	
4	月	身体測定	14	木		25	月	
5	火	参観日(校内水泳大会)	15	金	発表(3・4年) 敬老訪宅	26	火	
6	水		16	土	休 業 日	27	水	運動会総練習・反省会
7	木		17	日		28	木	
8	金	PTA 代議員会	18	月	敬老の日	29	金	発表(1年)バザー準備
9	土	休 業 日	19	火		30	土	運動会最終準備
10	日		20	水	街頭指導・職員会	1	日	三者合同運動会
			21	木		2	月	30日の代休